

令和2年度神奈川県公衆浴場入浴料金等協議会（書面開催）

意見取りまとめ結果

1 神奈川県公衆浴場入浴料金の統制額について

ア 改定案① （大人料金 10 円値上げ）	イ 改定案② （大人料金 20 円値上げ、組合 要望案）	ウ 現行料金 は改定しない	エ その他
2人	13人	0人	0人

<公衆浴場利用者からの意見>

（佐野委員）

新型コロナウイルスの影響もあり、もう1年だけ待つとは思いますが、公衆浴場の経営悪化は待たがきかないので、今回10円値上げはやむを得ないと思われる。

<学識経験者からの意見>

（竹内委員）

組合の皆様が大変な中協議を重ね、出した結論を尊重したいと思う。

（石田委員）

営業が大変厳しくなっている情勢の中、5年間据え置きしていたことから、今回の値上げはやむを得ないと思う。利用者の方の生活を考えると、10円値上げにとどめ、あとの10円については運営の補助として県が助成するように、ぜひ検討してほしい。

2 その他の意見

<公衆浴場利用者からの意見>

（佐野委員）

横須賀市ではひとり暮らし高齢者施策として、希望する方に地域交流や孤独感の解消を目的に月4枚の入浴利用券を交付しており、お年寄りは大変楽しみにしている。また、何かあれば浴場の方から民生委員に連絡もいただけるので感謝している。

<学識経験者からの意見>

（杉山委員）

昨年の税引き上げ、そしてコロナ禍における景気低迷の中での経営努力に敬意を申し上げる。コロナ終息・インバウンド効果のもと、我が国の伝統文化維持のため、さらなる発展を祈念する。

(竹内委員)

コロナウイルスの拡大によってオリンピックも延期になり、インバウンド効果も期待できない状況下、県も日本の伝統を守るという意味でも、更なる支援が必要と思うため、今後協議を進めていきたい。

(石田委員)

公衆浴場は、風呂のない住居に住んでいる方々には、なくてはならないものである。また、今後も高齢者のデイ銭湯などにも協力していることから、その様な努力を評価すべきと考える。日本の文化としても保存すること、外国からの観光客へのアピールなど、ぜひ県としても公衆衛生の役割を担い、頑張っている公衆浴場に運営の補助を創設してほしい。

<関係行政機関からの意見>

(吉岩委員)

公衆浴場は、コロナ禍にあっても、地域の公衆衛生の向上、地域コミュニティ形成の場として大変重要な役割を担っていると認識している。昨年の東日本豪雨の際には、中原区・高津区・多摩区（一部）の公衆浴場の厚意により、台風19号で被災された方々に対して、無料入浴サービスを提供した。